

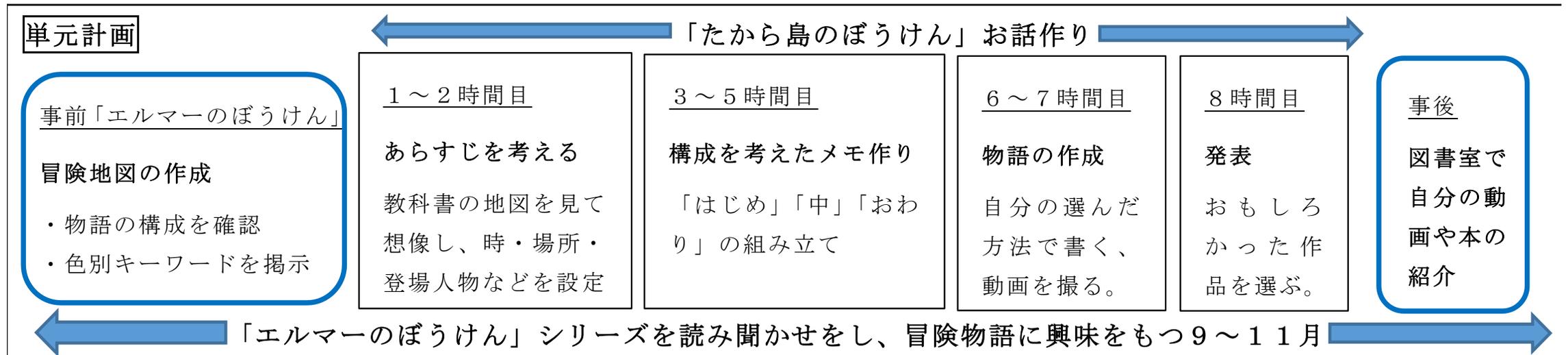
公立小学校在籍学級での教科指導における外国人児童への日本語支援 — 3年JSL国語科「たから島のぼうけん」

考えた物語を自分の選んだ方法で発表しよう—

実態 29名中 外国人児童 3名（日本生まれ、日本育ち）

- 課題…
- ・文章を構成する力や状況を説明する力が弱く、書くことに意味や楽しさを見いだせない。
 - ・耳からの情報はよく入り、語彙も豊富で話すことが好きだが、文字での情報が入らず、文を読んだり、文を整理して書いたりすることができない。

目標…絵地図をもとに「はじめ」「中」「終わり」の構成を考え、最後まで楽しく作る。



支援1 構成を考えるための支援

エルマーのぼうけん地図



登場人物、道具、出会った動物、起こった事件、解決方法をカードに書く。

「エルマーのぼうけん」のコーナー



日本語・英語・スペイン語のエルマーのぼうけんシリーズや、ペープサートが手軽に手に取れる。

支援2

文をくわしくする支援①

メモを作る



はじめ・中・おわりで物語を組み立てる。
ふせん1枚に1文を書く。
出来事—黄色、会話—ピンク

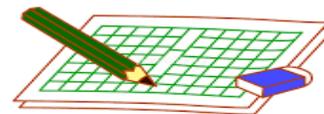
どこに何を書くか、はっきりさせる。

動画を撮る



同じ発表方法の友達と一緒に
グループ活動することで、
互いにアドバイスをもらえるよう
にする。

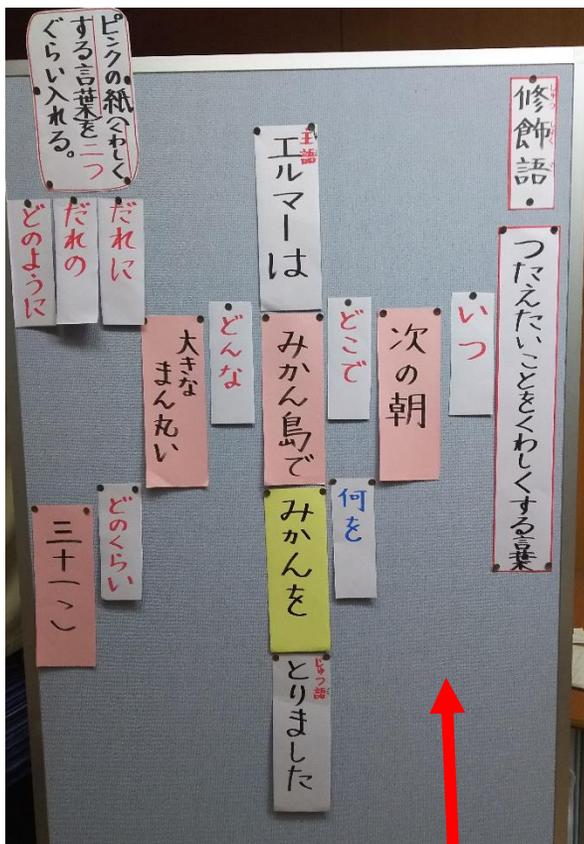
作文に書く



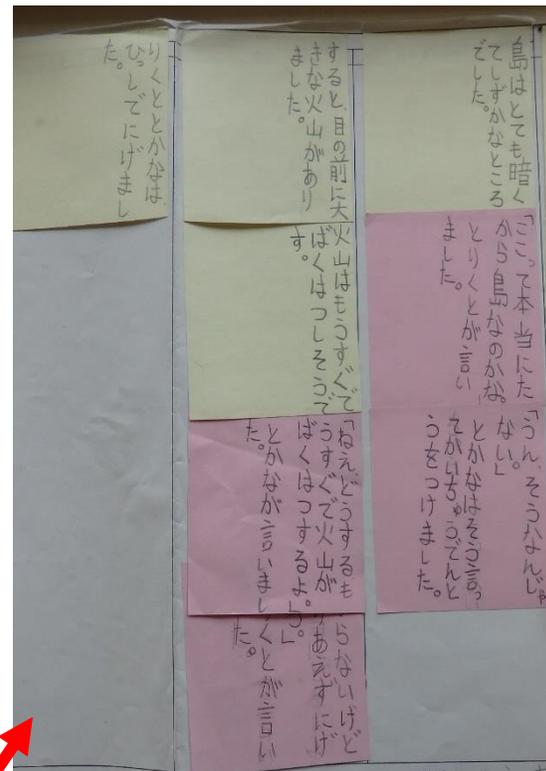
支援2

文をくわしくする支援②

AUカード（修飾語の文例）を示す。

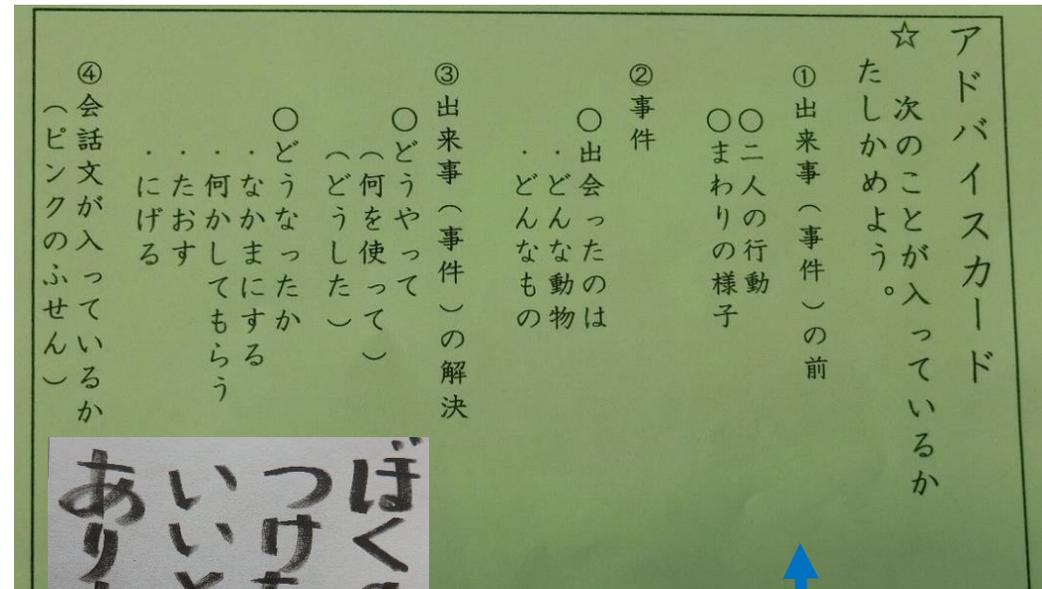


書くための支援



中は、場面ごとに書く。

アドバイスカードを見て書き忘れがないかチェックする。



交流するための支援

AUカードを見て、話す。

支援3

発表の負担を減らす支援



- ・ 道筋や遭遇するもの、動物の数を
選ぶことができる。
- ・ 「物語を書く」、「物語を話す（動画を撮る）」、
「書くと話すの両方」のいずれかを選択することができる。



- ・ 一緒に寄り添いながら読む。
 - ・ 友達同士で文を直す。
- ◎自分たちで解決しようとする力をつける。

成果

- 導入の工夫により、子供たちは「エルマーのぼうけん」が大好きになったので、全ての児童が、楽しみながら冒険物語を作り上げることができた。
- 構成を考えるために行った支援により、意欲が最後まで続き、興味を失うことなく、活動ができた。
- 作文を読んだり、動画を見たりする中で、子供たち同士アドバイスをし合い、お互いの作品がよりよくなるよう助け合うことができた。
- 一緒に寄り添って読む、手が空いている児童が、ペープサートを動かすなど、相手の気持ちを考えた行動が自然にできた。